

## コロナ患者が福岡で初めて確認されて5年 翻弄された飲食店 長いトンネルの先に見えた景色は

2/22(土)福岡放送



<https://news.yahoo.co.jp/articles/3c0771c91b853d1fb788082b9c62995b4bea18d4>

新型コロナウイルスの感染者が福岡で初めて確認されてから、20日で5年となりました。コロナ禍で大きな打撃を受けたある飲食店は4年前、その歴史に終止符を打ちました。街ににぎわいが戻った今、店主は何を思うのでしょうか。

5年前の2020年2月20日、当時「未知のウイルス」とされた新型コロナの感染者が、九州で初めて確認されました。

### ■福岡市・高島宗一郎市長

「市民の皆様にお知らせいたします。このたび、福岡市内で初めて、新型コロナウイルス感染症の患者が確認されました。」

不要不急の外出制限や、飲食店などへの営業時間短縮要請は感染拡大のたびに繰り返され、街からにぎわいが消えました。飲食店の閉店が相次ぎました。

### ■ちんめん あま太郎・笠井一恵さん(67)

「ここにありました、前のお店。ガラッと変わりましたね。」

笠井一恵さんは4年前まで、この場所で飲食店を切り盛りしていました。

### ■笠井さん

「懐かしい。」



2021年に閉店した「ちんめん あま太郎」。自家製の玉子麺「ちんめん」は、長きにわたって愛された店の看板メニューでした。

一恵さんの義理の両親にあたる先代の龍太郎さんと静子さんが、1960年に創業しました。一恵さんは2代目として店を守ってきましたが、

外食産業の多様化とコロナの感染拡大が経営を圧迫しました。



■ 笠井さん（当時 63）「コロナで外国のお客様や年配の方が（外食を）控えられてきたこともあり、売上げが激減しました。60年、還暦一回りですね。ちょうどいい潮時かなと思ひ、決めました。」

■ 創業者の静子さん

最後の営業日には、閉店を惜しむ人たちの姿

がありました。

### ■ 常連客

「父親と私と子ども、親子三代にわたってずっと食べに来て、すごくお世話になったお店なので、またどこかで食べられたらなと。」

### ■ 店員

「本日最終日です。よろしく願ひいたします。オープンします。2名様どうぞ。」

### ■ 笠井さん

「いらっしゃいませ。最終日第1号です。」

一恵さんの義理の母で、創業者の静子さん（当時 93）も最後の日を見届けました。

### ■ 創業者・笠井静子さん（当時 93）

「やっぱり寂しいね。もう60年もなるからね。体もよたよたしているけれど、来られたけん、よかった。」

2021年1月、60年の歴史に幕が下ろされました。

福岡市中央区

### ■ 笠井さん

「さっきの粉がこんな感じ。昔から玉子麺で黄色いですよ。」

一恵さんは現在、「ちんめん」の通信販売を手がけています。運営コストがかかる工場を閉鎖したあと、自宅に作業場を作り、愛されてきた味を家族だけで守っています。

先代の静子さんは2年前に亡くなりました。

### ■ 笠井さん

「あっという間でした。気がついたら（閉店から）丸4年たって5年目に。この5年間、こんなことしていましたが、といったことはないです。ただ毎日できることをこなす、できることをこなす。」

常連客からの手紙

閉店したあと、一恵さんのもとには再開を望む常連客からの声が届きました。

### ■ 笠井さん

「うれしいというか、感激でね、ジーンとききました。もったいないような手紙がいっぱい。」背中を押される喜びがある一方で。

### ■ 笠井さん

「店舗を構えるのはハードル高いです。今できることは何かと言え、細々ではありますが、麺とスープを作って、ときどきお届けするくらいです。」

2か月に1度の対面販売

この日、向かった先は、かつて店を構えていた福岡市・天神です。

■笠井さん

「きょうも今から始まるぞ、みたいな。気持ちを引き締めて出発ですね。」

一恵さんは現在、市内で2か月に一度、対面販売を行っています。店に立っていた頃と同じエプロンと三角巾に、店頭サンプルも当時のままです。



■笠井さん

「4食？」

■常連客

「ホットを4食。」

かつて店に通っていた人が、懐かしの味を求めてやってきました。

■常連客

「覚えていらっしゃるでしょうか、うちの孫は。」

■笠井さん

「もう大きくなっているでしょうね。」

■常連客

「高校生。」

■常連客

「お店があった時にまだ母が元気で、102歳で亡くなったのですが、100歳まではずっと(店に)行っていたかな。」

■笠井さん

「ランチのBとCで分量がちょっとずつ違うんです。その時のご注文で、お母様の体調が分かっていました。」

店がなくなっても「人の縁」はつながっています。

■笠井さん

「やっぱり、うれしいですね。全く縁が切れるのではなくて、お会いできることが楽しみでもありますし、できる形で、今の自分ができる形で(販売を)続けていきたいと思えます。」

コロナ禍に翻弄され、閉店した「ちんめん あま太郎」。一恵さんは、先代から続く歴史を今もつないでいます。

23日(日)深夜25時25分放送

今も後遺症に苦しむ患者。治療にあたる医師。当たり前の日常を変えたコロナ。FBSでは、新型コロナ感染確認から5年後の現実を見つめたドキュメンタリー番組を制作しました。

目撃者f「長いトンネルの先に」は、2月23日(日)深夜25時25分放送です。

※FBS福岡放送めんたいワイド2025年2月21日午後5時すぎ放送